



小矢部川上流域の
人々と暮らし

加藤享子

桂書房

目次

『小矢部川上流域の人々と暮らし』刊行を祝って

富山民俗の会代表 森 俊

はじめに

序章 刀利と立野脇

I	刀利 <small>とうり</small> と立野脇 <small>たてのわき</small> ……………	2
II	刀利谷の生活……………	5
III	刀利村廃村と、その後……………	7

一章 信仰に生きる人々と墓

I	明治十五年、刀利村から御本山再建への献木……………	12
II	盆の墓掃除と白石拾い ―消滅していく習俗の意味とは―……………	33
III	東本願寺砺波詰所の成立と、初代主人北村長助について……………	49
IV	越中(富山県)の御影巡回 ―下新川地方を中心として―……………	61
V	刀利村 下小屋の信仰生活……………	72
VI	刀利村の祭り……………	83

VII	刀利小村の社名と御神体	89
VIII	天神村 太兵衛家の歴史	96
IX	天神社と天神村	115
X	天神村の御消息	122
XI	明治時代、山本村から御本山へ毛綱の寄進	124
XII	報恩講	126

二章 植物の利用

I	昭和三十年代、山村の栗利用	
	—富山県小矢部川上流域の場合—	128
II	小矢部川上流地域の麻栽培と加工	
	—福光町立野脇の場合—	142
III	福光麻布	152
IV	立野脇のカヤ・ススキ利用法と、土壁資材としてのススキ	155
V	樹皮の利用	168
VI	ケヤキの良木育成と用材になるまで	
	—刀利谷・白中を中心に—	174
VII	ガマ・スゲ・カラムシの利用法	
	—刀利谷・立野脇・小二又を中心として—	181
VIII	キワダ(キハダ)	188
IX	山村の蔓性植物利用法 —立野脇の場合—	190
X	わが心の一冊『植物民俗』長澤 武著(法政大学出版局)	194
XI	樹皮の民具との出会い	195
XII	樹皮の加工と利用法	197
XIII	小矢部川上流域の植物と民俗	198

三章 生活を支えた民具

I	コクボのナタヘゴ（鉈鞘）づくり……………	202
II	昭和三十年代 木を割る技術と民具 — 富山県南砺市刀利・立野脇を中心として — ……	209
III	城端庭の生産と集荷 — 旧福光町香城寺を中心に — ……	218
IV	砺波市鷹栖の桶・樽職人 宮島良一……………	231
V	南砺地方の雪囲い、オーダレの生産と集荷 — 福光・井口地域を中心として — ……	242
VI	山の運搬用民具、メツカイ — 刀利谷を中心として — ……	249
VII	吉見バンドリ……………	253
VIII	勝木箸 ^{かつき} ……………	256
IX	ネマリ機 ^{ねだ} ……………	258
X	散居村ミュージアム「民具館」の宮島良一展……………	259
XI	向井國子さん手仕事をつなぐ……………	261

四章 山の生活

I	立野脇用水史……………	264
II	廃村した山村の地名 — 刀利の場合 — ……	275
III	マムシの民俗 — 刀利谷を中心として — ……	286
IV	山境の決め方 — 立野脇・刀利の場合 — ……	292
V	奥山の橋の作り方 — 下小屋の場合 — ……	295
VI	落とし紙以前……………	299
VII	刀利の地籍図と山の幸……………	304
VIII	白峰村の食文化を味わう……………	306

五章 地の利を活かした食生活

I	南砺地方のかぶらずし	308
II	干柿	316
III	どじょうのかば焼き	323
IV	薬用やつめうなぎ	327
V	米菓(カキヤマ)	329
VI	昆虫食 — 刀利谷・立野脇を中心に —	331
VII	刀利谷で造られていた、ドブザケの製法	336
VIII	刀利村の行事食	340
IX	タテ(蓼)を食べる福光地方の食習	345
X	福光地方のヤクメシ(握り飯)	348
XI	アズキナ(ナンテンハギ)を食べる	352
XII	よごし・野菜の保存法	353

六章 村の年中行事

I	福光地域のネツオクリ — 昭和三十年代を中心として —	356
II	南砺市福光地方の「ちよんがれ」について	364
III	南砺市(福光)天神社のバンボツ石 — 力士 渡辺太兵衛 —	371
IV	カクセツ(会食)と特殊川漁 — 才川七石坂の場合 —	376

著者略歴

加藤 享子 (かとう きょうこ)

[略 歴]

富山県南砺市（旧福光町）天神出身
昭和28年（1953）生まれ
富山県立福野高等学校卒業
富山大学文理学部文学科（現人文学部）卒業
富山県砺波市在住

所属学会 日本民俗学会 日本宗教民俗学会 富山民俗の会 越中史壇会
砺波散村地域研究所研究員 西郊民俗談話会 加能民俗の会 北陸石仏の会

[共 書]

『真宗本廟（東本願寺）造営史 一本願を受け継ぐ人びと』 東本願寺出版部 2011年
『福光町史』 南砺市 2011年
『山崎少年の刀利谷』 太美山自治振興会 2014年
『下立民俗誌』 富山民俗の会 2018年
『尾山の七夕流し・中陣のニブ流し 調査報告書』 黒部市教育委員会 2022年
『暮らしの歳時記 富山編』 富山新聞社 2012年 など

小矢部川上流域の人々と暮らし

2024年10月31日 初版発行

定価 3,600円＋税

著 者 加 藤 享 子

発行者 勝 山 敏 一

発行所 桂 書 房

〒930-0103

富山市北代3683-11

電話 076-434-4600

FAX 076-434-4617

印刷／モリモト印刷株式会社

© 2024 Kato Kyoko

ISBN 978-4-86627-157-6

地方小出版流通センター扱い

* 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁、乱丁などの不良品がありましたら送料当社負担
でお取替えいたします。

* 本書の一部あるいは全部を、無断で複製複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除
き、著作者および出版社の権利の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾を求めて下さい。